

おきピタっと イージー 施工説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
事前に、本説明書を必ずよく読み、手順通りに正しく貼り付けてください。

おきピタっと イージー 施工動画

製品の貼り付方は、動画でもご確認いただけます。



梱包内容

製品サイズ: 2.0 x 150 x 914.4mm
入り数: 24枚/ケース (3.29㎡)
施工説明書: 1冊
本製品は、一般住宅向けに既存床の上から貼り付けるタイプの内装材です。

貼り付ける際に必要な道具



※カッターナイフ使用時は手袋等の保護具を着用ください。

1 適用部位と下地の確認

- 本製品は一般住宅用床材ですので、土足での使用は避けてください。
- 表面が平滑な床材下地に貼りつけることができます。
- 床暖房の上には貼り付けしないでください。

床面の適応種類	
フローリング※	○
クッションフロア※	○
木質下地材(合板、MDF、パーティクルボード)	×
モルタル、コンクリート	×
畳	×
カーペット	×
床暖房	×

※表面がざらざらとしていたり、凹凸があるもの、目地の幅が広いもの等は十分に接着しない場合がございますので事前確認願います。

- 下地に段差や不陸、損傷、床鳴りがないことを確認してください。**
段差がある場合はカンナ、サンドペーパーなどで平滑に調整してください。
(段差や不陸などがある場合、接着不良により目隙や突き上げなどの原因になります。)
- 扉を開閉する場所がある場合は、扉の下と床面に最低5mm以上のすき間がある事を確認してください。**(5mmは100円玉3枚分が目安になります)
- ホコリや汚れ、ワックスが付いたままで、貼り付けをしないでください**
製品に浮きが発生し、浮いた部分でつまずいてけがをするおそれがあります。
- 水濡れや湿気のある下地には貼り付けしないでください**
接着が低下して剥がれやすくなったり、剥がしたときに接着剤の跡やベタツキが残りがやすくなる場合があります。
また、変色やカビ、臭いの原因になります。施工後についても、水などをこぼした場合はすぐに拭き取ってください。
- 本製品を撤去する際、現場状況等により接着剤の跡やベタツキが残る場合がありますので、あらかじめご了承ください。**
接着剤の跡が残っている場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。

2 使用にあたってのご注意

○ 電気(ホット)カーペットを使用しないでください

使用すると、目地隙、剥がれ、膨れ、突き上げ、変色などの原因になります。又、温風ヒーターをご使用の際は、風を直接あてないでください。

○ キャスターの使用はしないでください

キャスター付きイスおよび家具を使用しても破損したり表面にへこみ・傷が生じにくい製品ですが、付かないということではありません。特に金属製や球形状のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。

○ 貼り付け後に重量物を本製品に置く場合

脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き荷重を分散させてください。(目安4kg/cm²以下)
※敷板の目安としては、アップライトピアノ約5cm角以上、グランドピアノ約6cm角以上。
移動させる場合は、引きずらないでください。

○ テーブル、イス等の家具の脚について

テーブル、イス等の家具の脚などの局所荷重により、へこみ跡が付く場合があります。引きずると、床材表面を損傷する恐れがあります。ゴムキャップは、種類により色移りすることがあります。色移りすると取れませんのでご注意ください。

○ 長時間濡らしたまま放置しないでください

粘着面に液体が入り込むと、粘着力が低下し剥がれやすくなります。また、変色やカビ、臭いの原因になりますので水がこぼれたらすぐに拭き取ってください。

○ 水のかかる場所で使用する場合は、必ず足拭きマットをご使用ください

キッチンや洗面所、脱衣所など常に水のかかる場所については滑りやすくなり危険です。

○ 長時間直射日光が当たる場所では、カーテン・ブラインドで日よけしてください

長時間直射日光が当たる場所では、変退色が早くなります。

○ 強い作用を持つ洗剤、漂白剤などは使用しないでください

強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキや毛染め剤などの汚染物質及びゴム製品等により劣化や変色を招く場合があります。

○ 車イスを使用する場合

車イスの繰り返しの使用や、車イス自体の材質・形状などの条件によっては、表面にキズや汚れが付くことがあります。屋外でご使用になった車イスを乗り入れると付着した土砂で、床表面に傷が付くことがありますので土砂をはらってください。

3 材料の特徴としてご了解頂きたい現象

○ 反り、突き上げ・目隙き・波打ち

反りや突き上げ(繋ぎ目部分の盛り上がり)、目すき(継ぎ目部分にすき間ができる)、波打ちが発生することがあります。材料の特性上、発生する現象ですのでご了承ください。

○ 退色・変色などの経年変化

床材を長く使用していると経年変化により退色したり変色したりすることがあります。光や熱があたる部分とあたらない部分で色合いに差が生じることがあります。

4 貼り付け前のご注意

○ 製品の確認

梱包ケースに記載の品番、数量などを確認し、貼り付けを開始してください。またタイルの裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。

○ 貼り付けをする部屋の温度に慣らしてください

貼り付けを行う1日前から製品を置いて十分なじませてください。

○ 保管の際は、平坦な場所で平置きしてください

製品を保管する際は、平坦な場所で平置きし、6段以上積まないで下さい。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、仕上がりが悪くなります。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。

5 貼り付け方

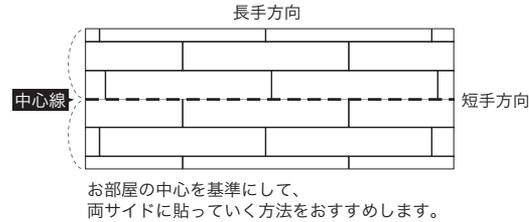
※詳しくは動画でご確認ください。

1 下地の準備をする

掃除機や雑巾を使い、床面のホコリや汚れをきれいに取り除いてください。

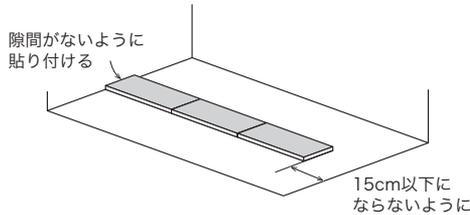
2 部屋の採寸、確認

部屋の2辺をメジャーで採寸します。製品の必要枚数を計算します。また、床からドアまでの高さを確認し、2mm以下の場合や、貼付け後のドアの開閉に支障が出る場合は、ドアの開閉部分を避けて貼付けます。

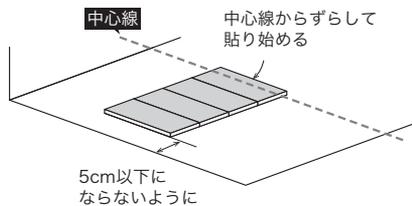


※注意

長手は、部屋の端から並べて最後に15cm以下のものがこないように貼り付けていきます。15cm以下になる場合は、始まりを15cmカットして貼り始めてください。



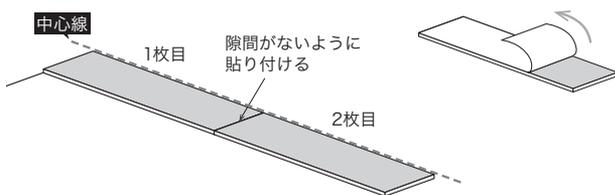
短手方向の両端に5cm以下のものがこないように貼っていきます。5cm以下になる場合は、貼りはじめを中心線に沿うのではなく、中心線からずらして貼りはじめてください。



貼り付ける方向を決めます。製品を仮置きすることをお勧めします。

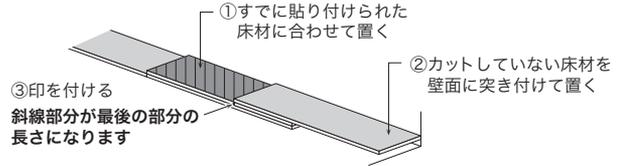
3 製品の貼り付け

裏面の保護フィルムを10cmほど剥がし、長手方向から貼り付けをおこないます。部屋の中心線に沿って(もしくはまたいで)1枚目の位置を決め、端を固定します。固定した製品箇所を押さえ、保護フィルムを剥がしながら貼り付けていきます。保護フィルムを剥がしきったら、製品をしっかり押さえてください。



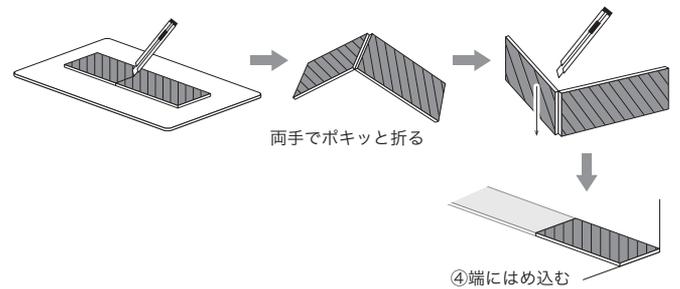
4 端のカット方法(長手方向 最後の貼り付け方)

最後から2枚目に、裏面の保護フィルムを取らずにカットする新しい製品をピッタリ重ねて置きます(①)。その上にガイドとなる新しい製品を壁側の端に突き付けて置きます(②)。重なった部分にカッターで印を付けます(③)。



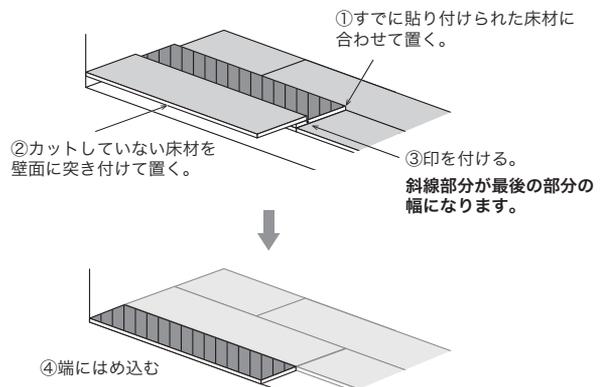
製品のカット方法

カッティングボード等を下敷きにして、2~3回カッターで切り込みを入れます。切り込んだ箇所を中心に両手で曲げ、折れた部分をカッターでカットします。裏面の保護フィルムを剥がして、壁側の端にはめ込みます。(④) (端に15cm以下のものがこないように注意してください。) 2列目以降も同様に貼っていきます。



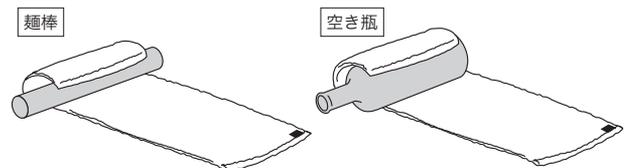
5 端のカット方法(短手方向 最後の貼り付け方)

最後から2枚目に裏面の保護フィルムを取らずにカットする新しい製品をピッタリ重ねて置きます(①)。その上にガイドとなる新しい製品を壁側の端に突き付けて置きます(②)。重なった部分にカッターで印を付けます(③)。④製品のカット方法と同様にカットし、壁側にはめ込んでいきます(④)。



6 ローラー掛け

最後にローラー掛けを行ってください。床材用圧着ローラーが無い場合は、おさえる力を均等にかけることが出来るような、ご家庭にある麺棒や空き瓶などを巻き付けて代用してください。全体にローラー掛けができれば完成です。



6 日常のお手入れについて

本製品を美しく保つためには、日常のお手入れが重要です。より汚れや傷を付きにくくするためにワックスを塗布することをおすすめします。

○日常のお手入れ

掃除機や固く絞った雑巾で床のゴミやホコリの汚れを取り除いてください。

○ワックス掛け

床の汚れを除去し、水拭き後十分乾燥させ、ビニル床タイル用の樹脂ワックスをモップや雑巾で床に2～3回塗布し、十分に乾燥させます。

※注意

多量の水を使用すると目地部分から水が入り込み、接着不良等の悪影響をおよぼすことがありますので十分にご注意願います。

- ・ 洗浄の際は、タイルの継ぎ目から床下へ洗浄が入り込まないようにしてください。また多量に洗剤を使用したり、洗剤を床面に長時間放置しないようにご注意ください。
- ・ 剥離作業は行わないでください。剥離作業は使用する剥離剤の液量が多く、床下へ入り込む危険性があります。
- ・ ワックスがけを行う際は、タイルの継ぎ目に溜まらないように注意します。タイルの継ぎ目に樹脂ワックスが浸み込むと、タイルを外せなくなるおそれがありますので、直接床に樹脂ワックスを撒いて塗布することは避けてください。

7 廃棄上のご注意

本製品(樹脂:ポリ塩化ビニル)、裏面保護フィルム(ポリエチレン)を廃棄する際は、法律及び地方自治体の規制に基づき適正に処理してください。

株式会社川島織物セルコン

<https://www.kawashimaselkon.co.jp>